

IT パスポート試験合格講座 Technology 06

- インタフェース設計
 1. ヒューマンインターフェース
人とシステムの接点となるインタフェース。
 2. ユニバーサルデザイン(Universal Design)
文化、言語、年齢及び性別の違いや、障害の有無や能力の違いなどにかかわらず、できる限り多くの人々が快適に利用できることを目指した設計。
 3. バリアフリーデザイン
障害者や小さい子供、高齢者等が社会生活を送る上で支障となる物理的・心理的障壁を取り除くことに配慮した設計。
 4. Web アクセシビリティ
年齢や身体的条件にかかわらず、誰もがWebを利用して、情報を受発信できる度合い。
 5. ユーザビリティ (Usability)
特定の利用状況(Context of Use)において、特定のユーザによって、ある製品が、指定された目標を達成するために用いられる際の、有効さ(Effectiveness)、効率(Efficiency)、ユーザの満足度(Satisfaction)の度合い。
 6. GUI(Graphical User Interface)
グラフィックスとポインティングデバイスを用いて、直感的な操作を提供するユーザインタフェース。
 7. アイコン
物事を簡単な絵柄で記号化して表現するもの。コンピュータにおいては、プログラムの内容を図や絵にして表しているもの。
 8. EUC(End User Computing)
利用者自身が、表計算ソフトやデータベースなどを活用し、業務を遂行すること。

9. ダイアログボックス

エラーメッセージを表示したり、少量のデータを入力したりするために用いるインタフェース。



10. テキストボックス

テキスト情報を入力するためのインタフェース。

11. チェックボックス

画面に表示されている複数の選択項目から、必要なものを全て選ばせる形式のインタフェース。

12. ラジオボタン

複数の選択肢から排他的にひとつを選ぶときに用いるインタフェース。

13. ポップアップメニュー／プルダウンメニュー／ドロップダウンメニュー

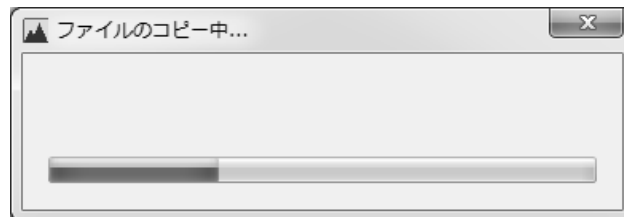
タイトル部分やマークをクリックすることで選択項目の一覧が表示され、その中からひとつ選ぶスタイルのインタフェース。

14. サムネイル(Thumbnail)

画像や印刷プレビューなどを表示する際に、内容確認などの目的で表示する縮小見本。

15. プロGRESSバー

時間の掛かる処理を行っている途中で、処理の進行状況を視覚的に知らせるための表示。



16. ウィザード(Wizard)

アプリケーションソフトの操作が複雑であっても、質問に答えていく対話形式によって簡単に操作が行えるようにする機能。

17. オンラインヘルプ

ハードウェア、ソフトウェアの操作についての説明などを、印刷物としてではなく、PCの画面で検索、ハイパリンクなどを利用して閲覧できる機能やサービス。

18. RSS

ブログやニュースサイト、電子掲示板などのWebサイトで、効率の良い情報収集や情報発信を行うために用いられており、ページの見出しや要約、更新時刻などのメタデータを、構造化して記述するためのXMLベースの文書形式。

19. CSS(Cascading Style Sheets)

HTMLやXMLの要素を、どのように修飾して表示させるかを定義する文書。

20. CGI(Common Gateway Interface)

利用者がWebページに入力した情報に基づいて、Webサーバがプログラムを起動して動的に表示内容を生成する仕組み。

21. Wiki

ブラウザを利用して誰でも自由に記事を執筆・改訂・編集ができる仕組みや、この仕組みによって構築されたサイト。

22. Ajax

JavaScript などのスクリプト言語を使って、Web ブラウザに組み込まれているサーバとの非同期通信機能を利用する技術。地図の高速なスクロールや、キーボード入力に合わせた検索候補の逐次表示などを実現する。

〔例題〕

営業伝票を入力する画面の設計に際し、リストボックスを使った選択画面において、作業効率を高めるために、画面が表示された時点で、ある値がすでに選択された状態になるように設定することにした。取引先の所在地(関東地方の七つの都道府県)を選択するリストボックスの場合、選択された状態で設定される都道府県として、適切なものはどれか。ここで、入力作業に関する事項は、次のとおりである。

〔入力作業に関する事項〕

- (1) 営業担当者毎の取引先の所在地は一つ又は隣接する二つの都道府県にある。
- (2) 営業担当者は、伝票を取引先ごとに分類して、入力作業担当者に渡す。
- (3) 入力作業は、営業担当者ごとの伝票をまとめて行う。
- (4) まとめて入力する伝票の数は、都道府県ごとに複数枚ある。
- (5) 1画面の入力操作で、1枚の伝票が入力できる。

- ア 営業成績の良い担当者の取引先がある都道府県
- イ 会社数が最も多い東京都
- ウ 五十音順で先頭となる茨城県
- エ 前画面で入力した都道府県

〔解き方〕

入力する伝票は、「営業担当者ごと」であり、「まとめて入力する伝票の数は、都道府県ごとに」なっているので、入力している伝票の次も同じ都道府県である確率が高いと考えられます。前画面で入力した都道府県名があらかじめ入力されていれば、入力作業を省くことができます。

[答]エ

